

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|------------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 信託期間 | 無期限（設定日：2022年4月1日） |
| 運用方針 | 投資信託証券への投資を通じて、長期的に大きな成長が見込めると判断される世界の企業の株式を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド（JPYアンヘッジドクラス） 世界の株式等 マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品 |
| 当ファンドの運用方法 | ■主として世界の取引所に上場している株式（預託証券（DR）や上場予定を含みます。）に投資を行います。 ■実質的な運用は、バロン・キャピタル・グループが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。 |
| 組入制限 | ■外貨建資産への直接投資は行いません。 |
| 分配方針 | ■年2回（原則として毎年3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。） |

バロン・グローバル・ フューチャー戦略 ファンド(資産成長型)

【運用報告書(全体版)】

(2024年3月16日から2024年9月17日まで)

第 5 期

決算日 2024年9月17日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて長期的に大きな成長が見込めると判断される世界の企業の株式を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド（資産成長型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | (参考指数) MSCIオールカントリー・ ワールド・インデックス (ネット配当込み、 円換算ベース) | | 公社債 組入比率 | 投資信託証券 組入比率 | 純資産 総額 |
|--------------------|-------------|-----------|-----------|--|-----------|-------------|----------------|------------|
| | (分配落) | 税込 分配金 | 期中 騰落率 | 期中 騰落率 | 期中 騰落率 | | | |
| (設定日) 2022年4月1日 | 円 10,000 | 円 — | % — | 100.00 | % — | % — | % — | 百万円 140 |
| 1期(2022年9月15日) | 9,358 | 0 | △ 6.4 | 101.51 | 1.5 | 0.0 | 97.8 | 7,800 |
| 2期(2023年3月15日) | 7,582 | 0 | △ 19.0 | 97.93 | △ 3.5 | 0.0 | 97.3 | 6,768 |
| 3期(2023年9月15日) | 9,981 | 0 | 31.6 | 120.03 | 22.6 | 0.0 | 97.4 | 7,801 |
| 4期(2024年3月15日) | 11,237 | 0 | 12.6 | 137.16 | 14.3 | 0.0 | 97.7 | 6,388 |
| 5期(2024年9月17日) | 11,219 | 0 | △ 0.2 | 140.65 | 2.6 | 0.0 | 97.4 | 4,780 |

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | (参考指数) MSCIオールカントリー・ ワールド・インデックス (ネット配当込み、 円換算ベース) | | 公社債 組入比率 | 投資信託証券 組入比率 |
|--------------------|-------------|--------|--|--------|-------------|----------------|
| | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | | |
| (期首) 2024年3月15日 | 円 11,237 | % — | 137.16 | % — | % 0.0 | % 97.7 |
| 3月末 | 11,587 | 3.1 | 142.14 | 3.6 | 0.0 | 97.7 |
| 4月末 | 11,570 | 3.0 | 144.05 | 5.0 | 0.0 | 97.7 |
| 5月末 | 11,620 | 3.4 | 147.23 | 7.3 | 0.0 | 97.3 |
| 6月末 | 12,635 | 12.4 | 155.56 | 13.4 | 0.0 | 98.0 |
| 7月末 | 11,506 | 2.4 | 149.48 | 9.0 | 0.0 | 97.9 |
| 8月末 | 11,556 | 2.8 | 145.30 | 5.9 | 0.0 | 98.1 |
| (期末) 2024年9月17日 | 11,219 | △ 0.2 | 140.65 | 2.6 | 0.0 | 97.4 |

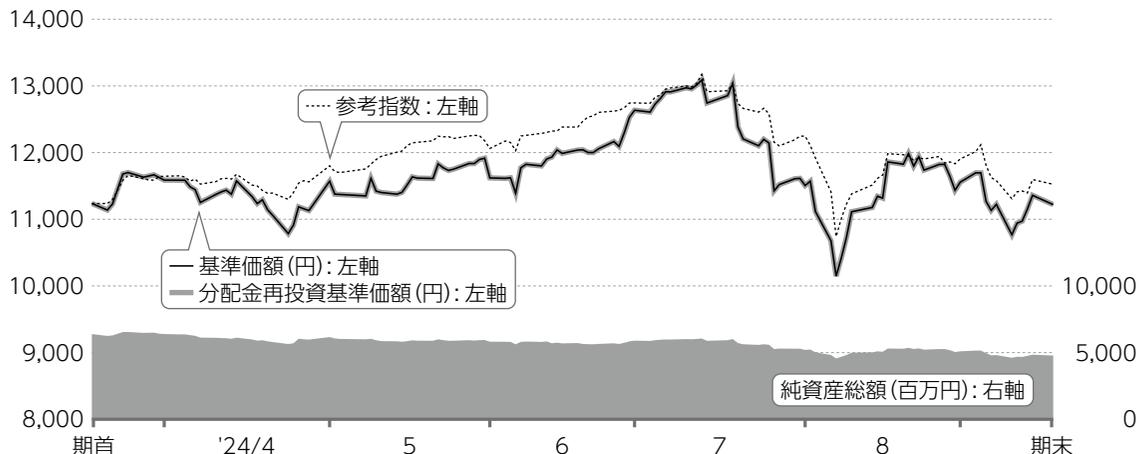
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----|---------------------------|
| 期首 | 11,237円 |
| 期末 | 11,219円 (既払分配金0円(税引前)) |
| 騰落率 | -0.2% (分配金再投資ベース) |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(ネット配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、長期的に大きな成長が見込めると判断される世界の企業の株式を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。

上昇要因

- 米国のファブレス半導体メーカー NVIDIA Corporationが上昇したこと
- アルゼンチンのeコマース（電子商取引）大手MercadoLibre, Inc.が上昇したこと
- 韓国のeコマース大手Coupang, Inc.が上昇したこと

下落要因

- 米国のクラウドベースのデータプラットフォーム開発企業Snowflake Inc.が下落したこと
- 米国のインターネットサービス企業Cloudflare, Inc.が下落したこと
- 米国のサイバーセキュリティ・テクノロジー企業CrowdStrike Holdings, Inc.が下落したこと

投資環境について（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

グローバル株式市場は上昇しました。また、為替市場は米ドル、ユーロとも円に対して下落しました。

株式市場

期中のグローバル株式市場は上昇しました。総じて米国の底堅い景気動向や企業決算が相場の下支え要因となるなか、F R B（米連邦準備制度理事会）をはじめとする中央銀行の利下げ開始に対する見方が株式市場を左右する展開となりました。米国の雇用環境には悪化が見られ始めたものの、緩やかなインフレの鈍化もまた確認されたことでF R Bの利下げ開始に対する期待が高まり、期の前半に米国株式市場は堅調な推移を見せました。8月は低調なISM（全米供給管理協会）製造業景況指数や雇用統計を受けて、米国の景気後退懸念が高まり、株式市場は大きく下落したものの、期の前半と同様にインフレ鈍化、利下げ期待の高まりによってその後力強く反発しました。

欧州株式市場もややプラスとなりました。EU（欧州連合）域内の景況感の改善やECB（欧州中央銀行）による利下げ開始はプラスに働きましたが、今後の追加利下げに慎重な見方が示されたことや、フランスにおける政局の不透明感、中国経済の低迷と対中関係の悪化懸念などは重石となりました。

為替市場

期を通じては、米ドル／円、ユーロ／円ともに円高となりました。期の前半は、F R Bによる利下げ観測の高まりやECBによる利下げ開始、日銀の利上げ開始があったものの、日米、日欧の金利差は依然大きいとの見方などから円安で推移しました。7月以降は日銀の追加利上げや米国の景気後退懸念などから急速に円高が進みました。

ポートフォリオについて（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

当ファンド

「B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド（J P Yアンヘッジドクラス）」を高位に組み入れました。

B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド（J P Yアンヘッジドクラス）

当ファンドはバロン・キャピタルの投資哲学の根幹である、「長期的なオーナーシップマインド」に基づき、破壊的变化から恩恵を受けると考えられる企業でポートフォリオを構築し、運用を行っています。期末時点のポートフォリオは31銘柄で構成されています。

ポートフォリオについて、期中は台湾の独立系半導体ファウンドリーTaiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited（T S M C）、中国のデータセンター開発・運営企業GDS Holdings Limited、共同購入のシステムを持つ中国のeコマースプラットフォーム運営企業PDD Holdings Inc.を新たに組み入れました。また、A Iを活用したヘルスケアテクノロジー企業であるTempus AI, Inc.については6月中に新規上場に伴い投資を開始しましたが、バリュエーション（投資価値評価）の短期的な上昇

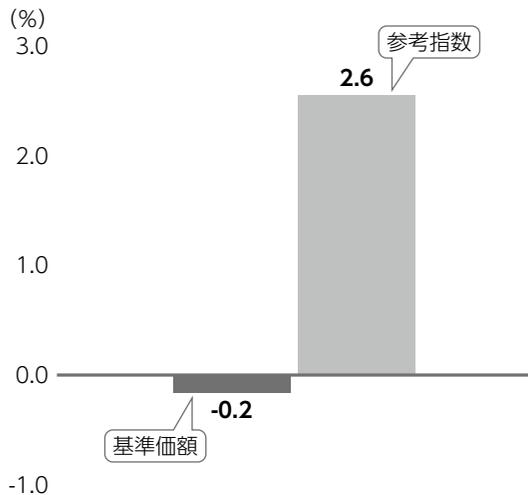
を受けて8月中に全売却しました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス（ネット配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

| 項目 | 第5期 |
|-----------|---------|
| 当期分配金 | 0 |
| （対基準価額比率） | （0.00%） |
| 当期の収益 | - |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,977 |

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド(J P Yアンヘッジドクラス)」を高位に組み入れます。

B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド(J P Yアンヘッジドクラス)

2024年8月初旬、金融市場は米国の景気後退懸念を背景に大きな混乱に見舞われ、当ファンドの組入銘柄もまた、ファンダメンタルズ(基礎的条件)とは概ね無関係に大きく下落しました。しかしながら、当ファンドは特定の市場環境に応じてポートフォリオを調整することはせず、あくまで確率的な投資アプローチに基づき、持続的な競争優位性、強固なバランスシート、卓越した経営手腕と資本配分能力を持つ経営陣に率いられる、質の高い企業への長期投資に重点を置いています。世界株式インデックスに対する8月のアウトパフォーマンスは、市場の混乱に動じずに確信度の高い企業からなるポートフォリオを維持することの重要性を示唆するものでしょう。

上述したような質の高い企業は、往々にして業界のリーディングカンパニーであり、代替し難い重要な製品やサービスを提供しているため、強い顧客粘着性と価格決定力

を背景にマクロ経済の悪化局面においても耐久力を発揮しながら将来のための投資を継続できるため、長期的に非常に大きな投資リターンが期待できるのです。

ここ数年で注目を集めている生成A Iの急速な進歩は魅力的な投資機会につながっておりますが、同時に大きなリスクを孕んでいることも理解しています。生成A Iが世界経済や特定の産業・ビジネスにどのような影響を与えるのかはまだ明確にはなっていませんが、少なくとも当ファンドのポートフォリオには、投資元本の大幅な喪失リスクを避けつつ、この技術的なパラダイムシフト(支配的な認識や価値観が劇的に変化すること)から恩恵を受けることができる企業が多く含まれていると考えています。

私たちは日々不確実な世界に身を置きながら投資を行っています。中央銀行の政策転換、予想外の経済データ、貿易摩擦、政府機関の閉鎖、世界中の政府要人の予測不可能な行動などは、ある日突然に金融市場に影響を与え、ボラティリティ(価格変動性)を上昇させます。このボラティリティの上昇要因である「市場参加者の短期的な行動を十分に理解すること」は非常に困難です。私たちが常に直面している課題は現実的かつ深刻であり、その結果はもちろん不確実ですが、歴史を振り返ると、ほとんどの場合においてその問題は一時的なものか、あ

るいは対処が可能なものであることが示されてきました。引き続き、独創的で競争力のある企業の特定に努め、入念な調査を通じてビジネスを理解した上で、長期的な目線からの投資を行ってまいります。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド（資産成長型）

1万口当たりの費用明細（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

| 項 目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|----------------------|------------|---------------|---|
| (a) 信 託 報 酬 | 65円 | 0.558% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,685円です。 |
| （投 信 会 社） | (18) | (0.154) | 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 |
| （販 売 会 社） | (46) | (0.392) | 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受 託 会 社） | (1) | (0.011) | 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | － | － | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株 式） | (－) | (－) | |
| （先物・オプション） | (－) | (－) | |
| （投資信託証券） | (－) | (－) | |
| (c) 有価証券取引税 | － | － | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株 式） | (－) | (－) | |
| （公 社 債） | (－) | (－) | |
| （投資信託証券） | (－) | (－) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 0 | 0.002 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| （保 管 費 用） | (－) | (－) | 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 |
| （監 査 費 用） | (0) | (0.002) | 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 |
| （そ の 他） | (0) | (0.000) | そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合 計 | 65 | 0.560 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

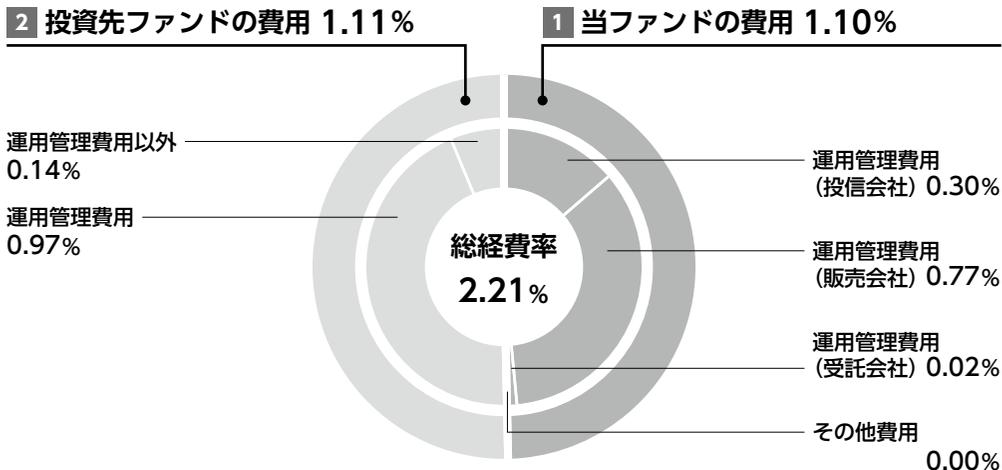
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



| 総経費率 (1 + 2) | | 2.21% |
|--------------|---------------------|-------|
| 1 | 当ファンドの費用の比率 | 1.10% |
| 2 | 投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.97% |
| | 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.14% |

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.21%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

投資信託証券

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|----|---|---------------|----------------|------------------|-------------------|
| | | 口 数 | 買 付 額 | 口 数 | 売 付 額 |
| 国内 | B S M Dグローバル・アドバンテージ・ ファンド（J P Yアンヘッジドクラス） | 240, 311, 796 | 千円 257, 430 | 1, 758, 079, 359 | 千円 1, 922, 307 |

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
（2024年3月16日から2024年9月17日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド（資産成長型）

■ 組入れ資産の明細（2024年9月17日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 期首（前期末） | 期 | | 末 |
|--|---------------|---------------|-----------|------|
| | 口数 | 口数 | 評価額 | 組入比率 |
| B S M D グローバル・アドバンテージ・ファンド（JPYアンヘッジドクラス） | 5,884,316,224 | 4,366,548,661 | 4,654,304 | 97.4 |
| 合計 | 5,884,316,224 | 4,366,548,661 | 4,654,304 | 97.4 |

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

| 種類 | 期首（前期末） | 期 | | 末 |
|------------------|---------|----|-----|-----|
| | 口数 | 口数 | 評価額 | 評価額 |
| マネー・トラスト・マザーファンド | 20 | 20 | 19 | 19 |

※マネー・トラスト・マザーファンドの期末の受益権総口数は1,323,298,164口です。

■ 投資信託財産の構成

（2024年9月17日現在）

| 項目 | 期 | 末 |
|------------------|-----------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| 投資信託受益証券 | 4,654,304 | 96.7 |
| マネー・トラスト・マザーファンド | 19 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 161,247 | 3.3 |
| 投資信託財産総額 | 4,815,571 | 100.0 |

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2024年9月17日現在）

| 項 目 | 期 末 |
|-----------------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 4,815,571,290円 |
| コール・ローン等 | 158,051,266 |
| 投資信託受益証券（評価額） | 4,654,304,217 |
| マネー・トラスト・マザーファンド（評価額） | 19,982 |
| 未 収 入 金 | 3,195,825 |
| (B) 負 債 | 35,494,832 |
| 未 払 解 約 金 | 3,573,653 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 31,777,557 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 143,622 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 4,780,076,458 |
| 元 本 | 4,260,772,308 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 519,304,150 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 4,260,772,308口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 11,219円 |

※当期における期首元本額5,685,737,137円、期中追加設定元本額353,664,382円、期中一部解約元本額1,778,629,211円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2024年3月16日 至2024年9月17日）

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------------|-----------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 66,892円 |
| 受 取 利 息 | 67,595 |
| 支 払 利 息 | △ 703 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 22,072,265 |
| 売 買 益 | 85,667,701 |
| 売 買 損 | △ 63,595,436 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 31,921,962 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A + B + C) | △ 9,782,805 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 751,932,038 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 222,845,083 |
| (配 当 等 相 当 額) | (90,531,298) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 313,376,381) |
| (G) 合 計 (D + E + F) | 519,304,150 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G) | 519,304,150 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 222,845,083 |
| (配 当 等 相 当 額) | (90,531,298) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 313,376,381) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 751,941,705 |
| 繰 越 損 益 金 | △ 9,792,472 |

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投資の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投資には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

| | 当 期 |
|-----------------------------|-------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 0円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 90,531,298 |
| (d) 分配準備積立金 | 751,941,705 |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 842,473,003 |
| 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額 | 1,977.28 |
| (f) 分配金 | 0 |
| 1 万 口 当 た り 分 配 金 | 0 |

■ 分配金のお知らせ

| 1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前) | 当 期 |
|---------------------------|-----|
| | 0円 |

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

| | |
|---------|--|
| ファンド名 | B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド（J P Yアンヘッジドクラス） |
| 形態 | ケイマン籍契約型投資信託（円建て） |
| 主要投資対象 | 世界の株式等を主要投資対象とします。 |
| 運用の基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> ●主として世界の取引所に上場している株式（預託証券（D R）や上場予定を含みます。）の中から、長期的に大きな成長が見込めると判断される企業に厳選して投資を行います。 ※特別買収目的会社や未上場企業の株式等へ投資を行う場合があります。 ●組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ●資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。 |
| 主な投資制限 | <ul style="list-style-type: none"> ●同一発行体の株式への投資割合は、純資産総額の10%以内とします。 ●未上場株式への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ※保有する未上場株式の価格変動等に起因して保有割合が上記の水準を超過した場合、副投資顧問会社の判断に基づき、速やかに保有割合の調整を行うことを基本とします。 ●有価証券の空売りは行いません。 |
| 配分方針 | 毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。ただし、分配を行わないことがあります。 |
| 運用管理費用 | <p>純資産総額に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用報酬：年0.7%程度 報酬代行会社報酬：年0.12%程度* 事務代行報酬：年0.05%程度（最低年35,000米ドル） *報酬代行会社報酬の中から、管理会社報酬（年5,000米ドル）および受託会社報酬（年10,000米ドル）が支払われます。 <p>※上記のほか、名義書換事務代行費用（最低年4,200米ドル）、保管費用（最低年12,000米ドル）などがかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。</p> <p>また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる報酬等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p> |
| その他の費用 | <p>ファンドの取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p> |
| 申込手数料 | ありません。 |
| 管理会社 | U B S マネジメント（ケイマン）リミテッド |
| 副投資顧問会社 | B A M C O インク |
| 購入の可否 | 日本において一般投資者は購入できません。 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ●未上場株式への投資を行う場合、副投資顧問会社は価格評価代行会社として投資する未上場株式の日々の価格評価を行い、当該評価に基づいて当ファンドの純資産価格は計算されます。 ●未上場株式の評価価格は、当該企業の財務状態などの各種参照項目を反映したプライシングモデルに基づき算定されます。 ●また、当該価格評価プロセスは、副投資顧問会社において、運用部門から独立した組織によって運営、モニタリングされています。 |

以下には、「B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド（J P Yアンヘッジドクラス）」をシェアクラスとして含む「B S M Dグローバル・アドバンテージ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書（2023年6月30日に終了した期間）

（単位：米ドル）

| | |
|----------------------------|--------------------|
| 損益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る純損益 | |
| 配当収入（外国源泉税 6,610米ドル控除後） | 38,736 |
| 証券に係る純損益 | (5,107,020) |
| デリバティブに係る純損益 | 513,506 |
| | <u>(4,554,778)</u> |
| 受取利息 | 20,915 |
| 外国為替取引に係る純損益 | (540,724) |
| 純損益合計 | <u>(5,074,587)</u> |
| 運用報酬 | 485,133 |
| 取引費用 | 24,888 |
| 管理事務代行報酬 | 54,224 |
| 保管報酬 | 31,304 |
| 仲介手数料 | 82,411 |
| その他費用 | 92,987 |
| 営業費用合計 | <u>770,947</u> |
| 償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動額 | <u>(5,845,534)</u> |

パロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド（資産成長型）

組入上位銘柄

(基準日：2023年6月30日)

| | 銘柄名 | 業種 | 組入比率 |
|----|----------------------------|------------|------|
| 1 | NVIDIA Corporation | 情報技術 | 8.4% |
| 2 | Shopify Inc. | 情報技術 | 6.2% |
| 3 | Tesla, Inc. | 一般消費財・サービス | 5.8% |
| 4 | MercadoLibre, Inc. | 一般消費財・サービス | 5.7% |
| 5 | Amazon.com, Inc. | 一般消費財・サービス | 5.3% |
| 6 | Snowflake Inc. | 情報技術 | 5.3% |
| 7 | Coupang, Inc. | 一般消費財・サービス | 4.7% |
| 8 | HDFC Bank Limited | 金融 | 4.6% |
| 9 | CrowdStrike Holdings, Inc. | 情報技術 | 4.2% |
| 10 | Endava plc | 情報技術 | 4.2% |
| | 全銘柄数 | | 32銘柄 |

※比率は純資産総額に対する割合です。

マネー・トラスト・マザーファンド

第8期（2022年10月13日から2023年10月12日まで）

| | |
|------|--|
| 信託期間 | 無期限（設定日：2016年1月29日） |
| 運用方針 | ■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。 |

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準 円 | 価額 | | 公社 組入比 | 債 率 | 純 資 産 |
|-----------------|---------|--------|-------------|-----------|--------|-------------|
| | | 騰 落 | 中 率 % | | | |
| 4期（2019年10月15日） | 9,980 | | △0.1 | | 68.7 | 10 |
| 5期（2020年10月12日） | 9,970 | | △0.1 | | 74.8 | 12 |
| 6期（2021年10月12日） | 9,962 | | △0.1 | | 70.1 | 15 |
| 7期（2022年10月12日） | 9,958 | | △0.0 | | 73.8 | 15 |
| 8期（2023年10月12日） | 9,952 | | △0.1 | | 75.0 | 15 |

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

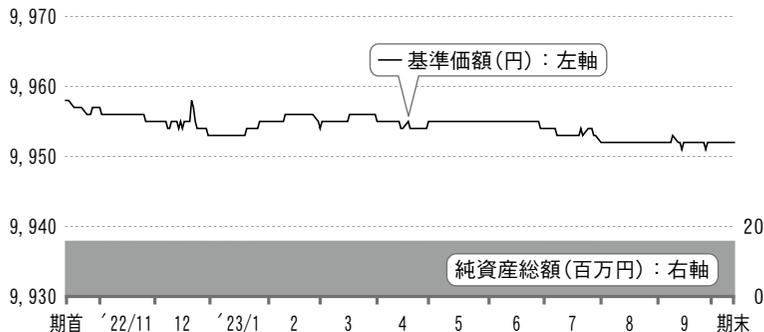
| 年 月 日 | 基準 円 | 価額 | | 公社 組入比 | 債 率 |
|---------------------|---------|--------|--------|-----------|--------|
| | | 騰 落 | 率 % | | |
| (期首) 2022年10月12日 | 9,958 | | | | 73.8 |
| 10月末 | 9,957 | | △0.0 | | 73.7 |
| 11月末 | 9,955 | | △0.0 | | 73.7 |
| 12月末 | 9,953 | | △0.1 | | 73.8 |
| 2023年1月末 | 9,955 | | △0.0 | | 73.7 |
| 2月末 | 9,954 | | △0.0 | | 73.7 |
| 3月末 | 9,955 | | △0.0 | | 73.6 |
| 4月末 | 9,955 | | △0.0 | | 75.0 |
| 5月末 | 9,955 | | △0.0 | | 74.9 |
| 6月末 | 9,954 | | △0.0 | | 75.0 |
| 7月末 | 9,952 | | △0.1 | | 75.0 |
| 8月末 | 9,952 | | △0.1 | | 74.9 |
| 9月末 | 9,952 | | △0.1 | | 75.0 |
| (期末) 2023年10月12日 | 9,952 | | △0.1 | | 75.0 |

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2022年10月13日から2023年10月12日まで）

基準価額等の推移



| | |
|-----|--------|
| 期首 | 9,958円 |
| 期末 | 9,952円 |
| 騰落率 | -0.1% |

▶ 基準価額の主な変動要因（2022年10月13日から2023年10月12日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について（2022年10月13日から2023年10月12日まで）

短期金利は、低下しました。

世界的にインフレが高止まりを続けたことや、欧米中央銀行による大幅な利上げの継続を背景に円安が進行したことから、国内でも物価上昇率が拡大し、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は一時、前年比+4%台まで上昇しました。この間、日銀は市場機能への配慮や物価上昇リスクへの対応として、長期金利（10年国債利回り）の許容変動幅拡大や事実上の上限引き上げを行うなど、イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の運用を柔軟化しました。しかし、日銀は賃金の上昇を伴う形での物価目標の達成を目指すために、イールドカーブ・コントロールの枠組みは維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、欧米での金融不安の影響でリスク回避の動きが強まった3月や、年末越え運用ニーズが高まった9月末に、一時的に大きく低下する局面もありましたが、期を通じて概ねレンジ推移となりました。

▶ ポートフォリオについて (2022年10月13日から2023年10月12日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2022年10月13日から2023年10月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

CPIコアの前年比伸び率は、政策効果によって+3%台に低下しており、先行きも輸入物価を起点とするコストプッシュ圧力の弱まりにより減速基調となる見通しです。日銀は賃金の上昇を伴う形での物価目標の達成に必要な時点までイールドカーブ・コントロールの枠組みを維持し、当面、マイナス金利政策を継続する見込みです。従って、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2022年10月13日から2023年10月12日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|--------------------|-----------|-------------------|--|
| (a) その他費用 (その他) | 1円 (1) | 0.006% (0.006) | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合計 | 1 | 0.006 | |

期中の平均基準価額は9,954円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年10月13日から2023年10月12日まで)

公社債

| | | 買付額 | 売付額 |
|----|-------|-------|----------|
| | | 千円 | 千円 |
| 国内 | 国債証券 | 6,035 | — |
| | 特殊債証券 | 5,940 | (11,700) |

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年10月13日から2023年10月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2022年10月13日から2023年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

| 区分 | 期 | | | | 末 | | |
|------------------|--------------------|--------------------|----------------|------------------|------------|------------|----------------|
| | 額面金額 | 評価額 | 組入比率 | うちBBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 国債証券 | 6,000 (-) | 6,020 (-) | 37.8 (-) | - (-) | - (-) | - (-) | 37.8 (-) |
| 特殊債券 (除く金融債券) | 5,900 (5,900) | 5,925 (5,925) | 37.2 (37.2) | - (-) | - (-) | - (-) | 37.2 (37.2) |
| 合計 | 11,900 (5,900) | 11,946 (5,925) | 75.0 (37.2) | - (-) | - (-) | - (-) | 75.0 (37.2) |

※ () 内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

| 種類 | 銘柄 | 期 | | 末 | |
|------------------|------------|--------|--------|--------|------------|
| | | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| | | % | 千円 | 千円 | |
| 国債証券 | 332 10年国債 | 0.6000 | 3,000 | 3,004 | 2023/12/20 |
| | 335 10年国債 | 0.5000 | 3,000 | 3,016 | 2024/09/20 |
| 小 | 計 | - | 6,000 | 6,020 | - |
| 特殊債券 (除く金融債券) | 215 政保道路機構 | 0.6690 | 3,000 | 3,011 | 2024/04/30 |
| | 3 政保新関西空港 | 0.6440 | 2,900 | 2,913 | 2024/06/26 |
| 小 | 計 | - | 5,900 | 5,925 | - |
| 合 | 計 | - | 11,900 | 11,946 | - |

■ 投資信託財産の構成

(2023年10月12日現在)

| 項目 | 期末 | |
|--------------|----------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| 公社債 | 11,946千円 | 75.0% |
| コール・ローン等、その他 | 3,987 | 25.0 |
| 投資信託財産総額 | 15,933 | 100.0 |

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月12日現在)

| 項目 | 期末 |
|-----------------|-------------|
| (A) 資産 | 15,933,729円 |
| コール・ローン等 | 3,972,122 |
| 公社債(評価額) | 11,946,553 |
| 未収利息 | 14,561 |
| 前払費用 | 493 |
| (B) 負債 | 153 |
| その他未払費用 | 153 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 15,933,576 |
| 元本 | 16,009,841 |
| 次期繰越損益金 | △ 76,265 |
| (D) 受益権総口数 | 16,009,841口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 9,952円 |

※当期における期首元本額16,009,841円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

| | |
|--|------------|
| ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース) | 2,543,560円 |
| ライフ・ジャーニー(かしこく使うコース) | 2,453,434円 |
| ライフ・ジャーニー(充実して楽しむコース) | 721,009円 |
| 人生100年時代・世界分散ファンド(資産成長型) | 100,141円 |
| 人生100年時代・世界分散ファンド(3%目標受取型) | 100,141円 |
| 人生100年時代・世界分散ファンド(6%目標受取型) | 100,141円 |
| 人生100年応援ファンド(資産成長コース) | 64,109円 |
| 人生100年応援ファンド(ちよっぴり受取コース) | 32,055円 |
| 人生100年応援ファンド(おもいっきり受取コース) | 24,041円 |
| MF S・グローバル株式ファンド | 100,181円 |
| テトラ・エクイティ | 1,503,157円 |
| ボンド・ゼロトリプル(予想分配金提示型) | 300,632円 |
| ボンド・ゼロトリプル(資産成長型) | 300,632円 |
| テトラ・ネクスト | 3,712,251円 |
| MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジあり) | 1,003,311円 |
| MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジなし) | 1,003,311円 |
| PIMCOグローバル・ターゲット戦略債券ファンド2021-06(限定追加型) | 903,343円 |
| パロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(資産成長型) | 20,087円 |
| パロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(予想分配金提示型) | 20,087円 |
| クライメイト・ソリューション・ファンド | 1,004,218円 |

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年10月13日 至2023年10月12日)

| 項目 | 当期 |
|------------------|----------|
| (A) 配当等収益 | 81,055円 |
| 受取利息 | 83,101 |
| 支払利息 | △ 2,046 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 88,608 |
| 売却益 | 210 |
| 売却損 | △ 88,818 |
| (C) その他費用等 | △ 936 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 8,489 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 67,776 |
| (F) 合計(D+E) | △ 76,265 |
| 次期繰越損益金(F) | △ 76,265 |

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。